

岳の山 大鳥屋山 山行報告

【山行日】2020年3月20日(金) 晴

【参加者】菅井 加藤 寺崎

【山行記録】

津田沼 6:00-佐野田沼 IC-8:10 五条の滝市営駐車場 8:25-8:40 観瀑台 8:55-10:24 岳の山 10:35-11:00 624mピーク-12:10 624mピーク-13:00 大鳥屋山 13:20-14:40 駐車場

【報告】

渋滞もなく快調に進み登山口に到着。

かつて車が通れた道を少し歩くと滝への案内図と滝についての説明があった。ここからが山道となる。途中で観瀑台への下りがある。あいにく渇水期で水は少ないがかなりの落差のある滝だ。もとの戻り、1本松が上部から見られる地点に行くが、残念ながら松はなかった。ここから見ると滝は何段かに分かれ、40mもの落差がある大きな滝である事がわかる。



やがて沢に沿った道になるが、今年の台風によると思われるすさまじい倒木の連続となる。あまりこの道は利用されていない様だ。所々踏み跡すらわからない。苦勞してくぐったりまたいだりし、いやになる

頃、道は右の沢筋を進むようになり、ようやく倒木帯から脱出。踏み跡もかなりはっきりしてくる。

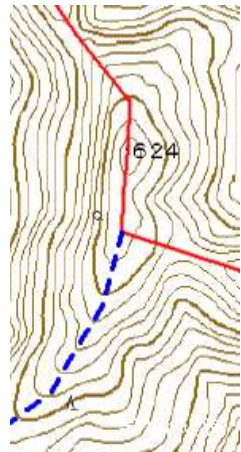


傾斜も急になり一汗かいた頃、歩きやすい稜線を登る。信仰の山を示す祠を過ぎると山頂に到着。





岳の山からは岩混じりの急な下りとなる。慎重に下り、歩きやすい登山道を少し登ると 624mのピークに到着したが、何の印もない。GPS でピークを確認。ここからは少し南に行った後すぐに東へ曲がらなければならないが、曲がる地点を見落とし、青の破線で示す南に下る道を進んでしまった。この



ルートには赤テープもあり、テープを信用し、快調に管理下ってしまった。さすがに変だと気づき、GPS で現在地を確認。624m地点まで戻る。かなり時間をロス、もっと早く GPS を見るべきであった。

よく見ると、分岐点には木の枝に印があった。ここから快調に進み、下山口を確認し、大鳥屋へ向かう。急な斜面がなだらかになると、まもなく山頂に到着。この山は栃木 100 名山に入っているのでかなりの人が登っているようだ。山としては、栃木 100 名山に入っていない岳の山の方が魅力的。

山頂にはやはり信仰の山を示す石碑がまつられている。



下山口まで戻り下山開始。かなりの人が登っている様でしっかりとした登山道でかなり歩きやすい。まもなく林道に出る。林道の左端に赤テープを発見。そこを下るが、とたんに踏み跡が薄くなる。GPS で確認し、同じ所に出ると見定め、進み荒れ果てた林道に出る。GPS で正しい林道だと確認。

それにしてもすさまじい荒れ方だ。改めて台風と雨の恐ろしさを痛感しながら駐車場まで戻った。